ＷＥＢツール（ＫＵＤＵ）操作方法

(システム構成事前登録方法)

2005 年 11 月 16 日

はじめに

今回のコネクタソンにおいて全面的に Web　Tool を使用する。従来の名称が一般的な名称であることから、最近「ＫＵＤＵ」と命名された(意味は不明)。

ＩＨＥ－Ｊ　２００５での使用は以下のようにおこなわれる。

（1）　各社の System 構成の事前登録

ベンダー各社は、社名や担当者および参加システムの構成情報を 11 月末までに Internet 経由でサーバーにアクセスして登録する。ここで説明されている以外の登録・改訂作業は、管理者にメイルにて通知し、総て管理者に依頼する必要がある。登録期限日翌日以降のシステムの追加および変更（テスト対象のアクター・統合プロファイルのペア追加・変更・削除）は出来ない。

（2）　コネクタソン当日の進行管理

Local　Lan に接続し、必要テスト項目の確認、テスト相手の探索、テスト結果の承認と進行状況の把握できる。また、自社および他社の System 構成の確認等はいつでもおこなえる。勿論、開催後は各自での変更は禁止である。必ず管理者を通しておこなうこと。

（当日の使用の際は、参加システム以外に LapTop　PC 等を用意してください）。

ここでは、（1）各社の System 構成の事前登録の操作法を述べる。

1. ＫＵＤＵへアクセス

http://yoshiwatan.homeip..net/japan2006/
なお、コネクタソン当日は、http://192.168.0.42/japan2006/　になる。

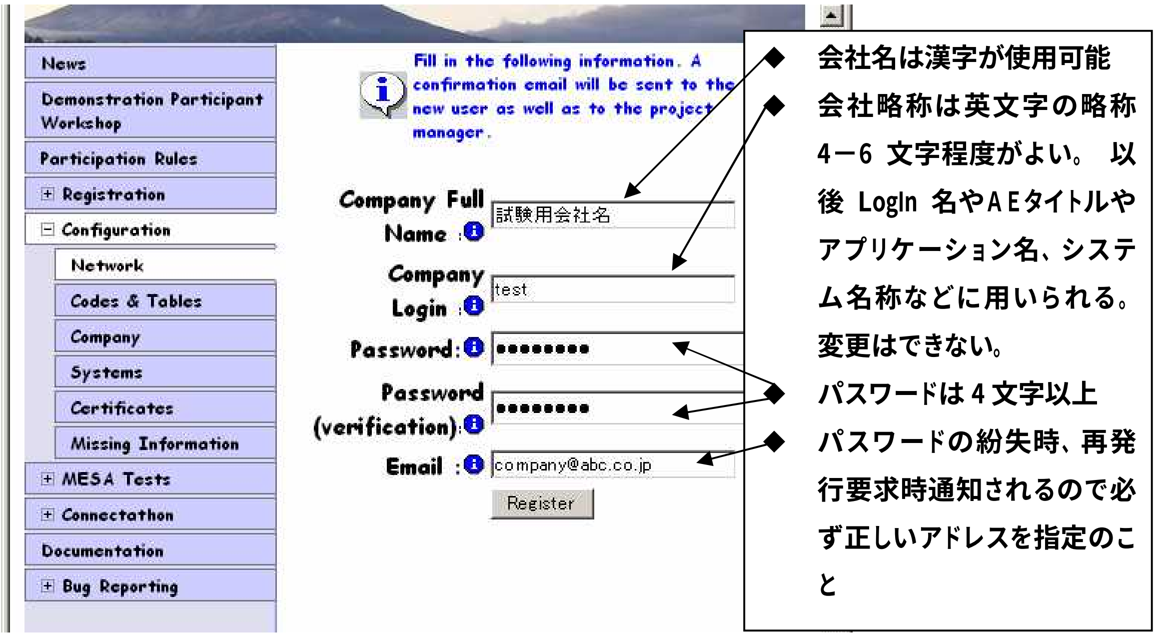
Log -In: “ihejuser”　Passwoed: “iehj2005”

注意：

・ＫＵＤＵの表示ページでは、ブラウザーの 「更新」ボタンと

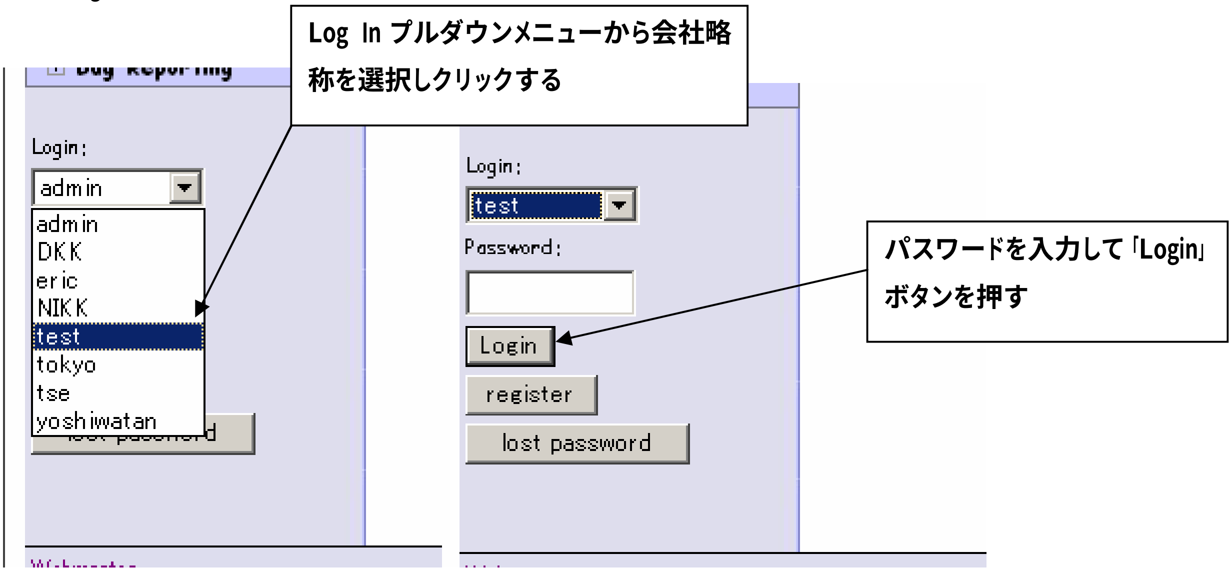
「戻る」ボタンは使用せず、ページ左側のメニューをクリックする。
・ここで説明された以外の登録･改訂作業は管理者または PM(Project Manager)が行う。そのような修正や追加登録が必要な場合は管理者まで連絡すること（修正事項によっては、参加社全体に影響が及ぶこともあるので、無断でＫＵＤＵからの修正操作を行わないで下さい）。
・本ドキュメントの画面コピーのデータは例であり実際とは異なる。
・Configuration 情報｛DICOM/HL7 の割付情報（IP アドレス、Port 番号、ＡＥタイトル）｝は Configuration 確認期日以前は変更の可能性があるので、指定確認期日（1 月 23 日）以降に再度確認が必要。
・LogIn の会社略称、システム略称は変更できない。

2. 会社名の登録



この後、設定メイルアドレスに確認のメイルが送られる。会社名が漢字の場合文字化けした表題で通知される（BUG）。メイル記載のアドレスにアクセスして確認（Confirmation）を行う。LogIn がうまくいかないときは、一度ブラウザを終了後、再度 WEB アクセスをやり直すと良い。

3. Log In



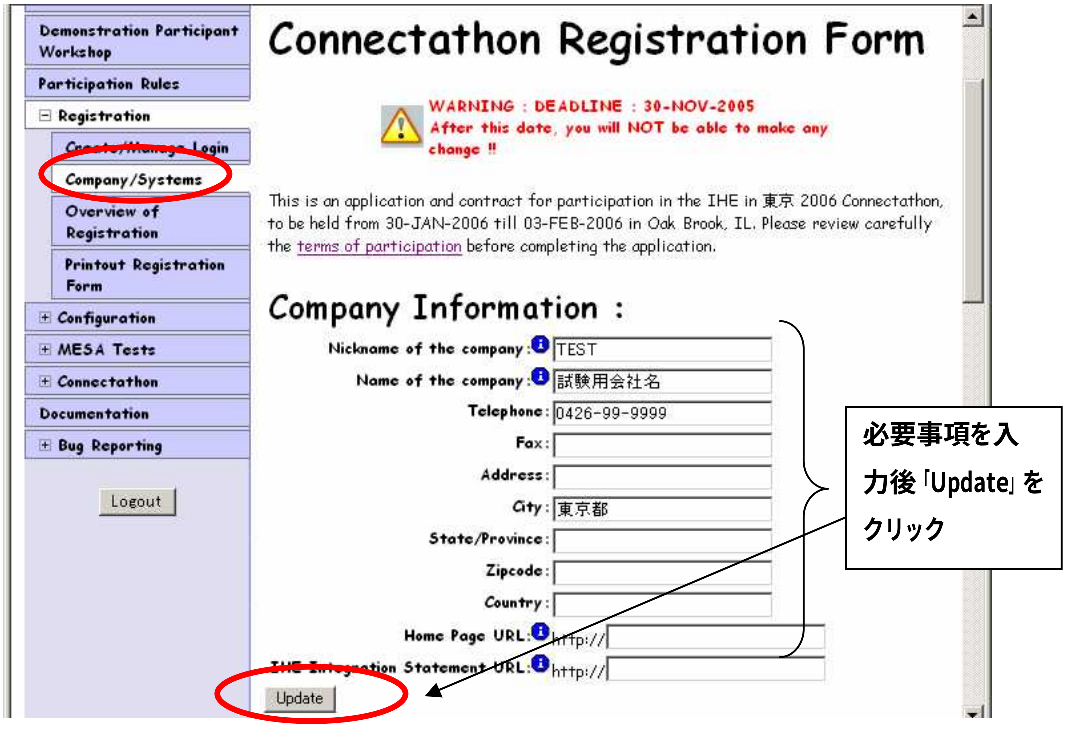
ログイン後、左側メニューの「Registration」をクリックするとページ右下に「Change Password」があるので、それをクリックして Password を変更できる。変更できるのは Registration が許可されている間だけである（11 月末日まで）。

4. 会社情報、連絡先および参加システムの登録

「Registration」 -> 「Company/Systems」をクリックしても入れる。

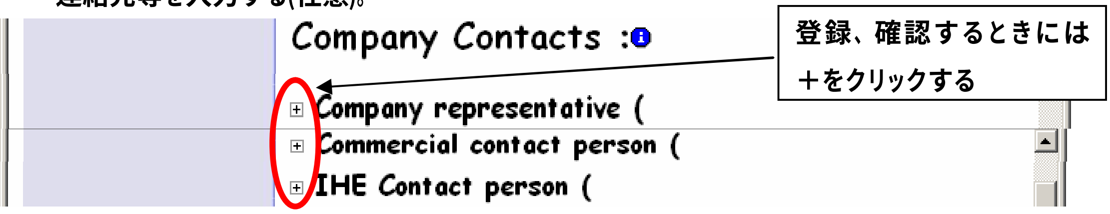
4. 1会社情報

会社の情報を必要に応じて入力する（任意）。

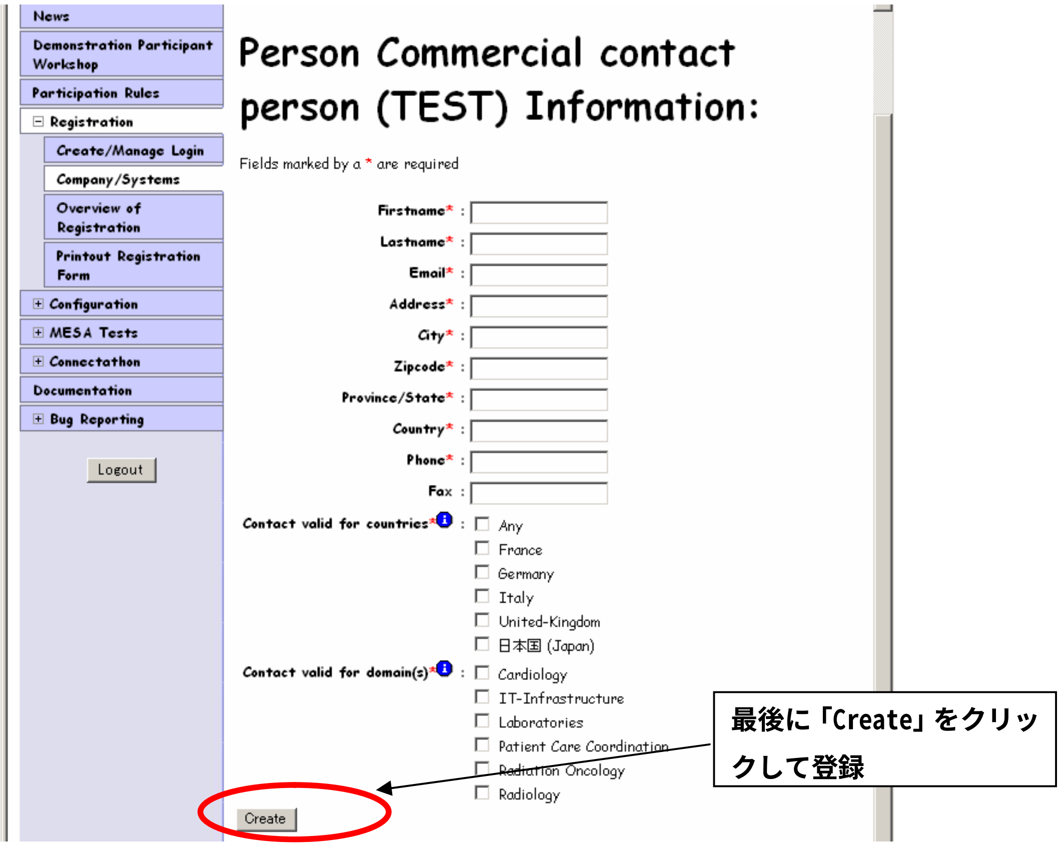


4．2連絡先情報

連絡先等を入力する(任意)。

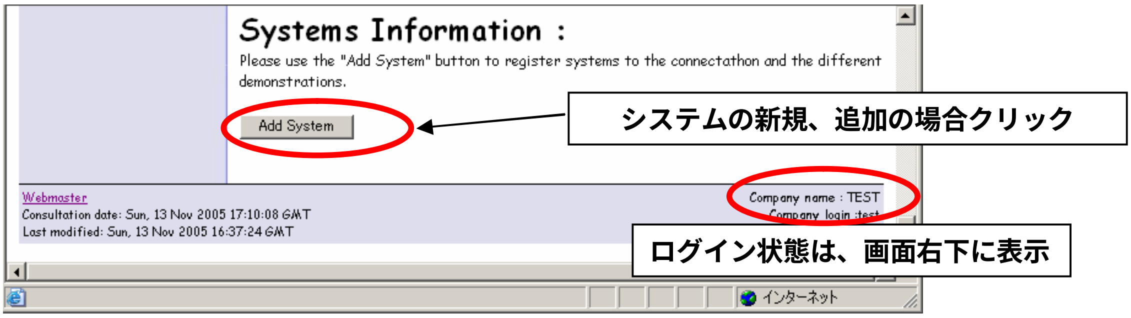


クリックすると以下のように入力フィールドが現れるので適宜入力する。

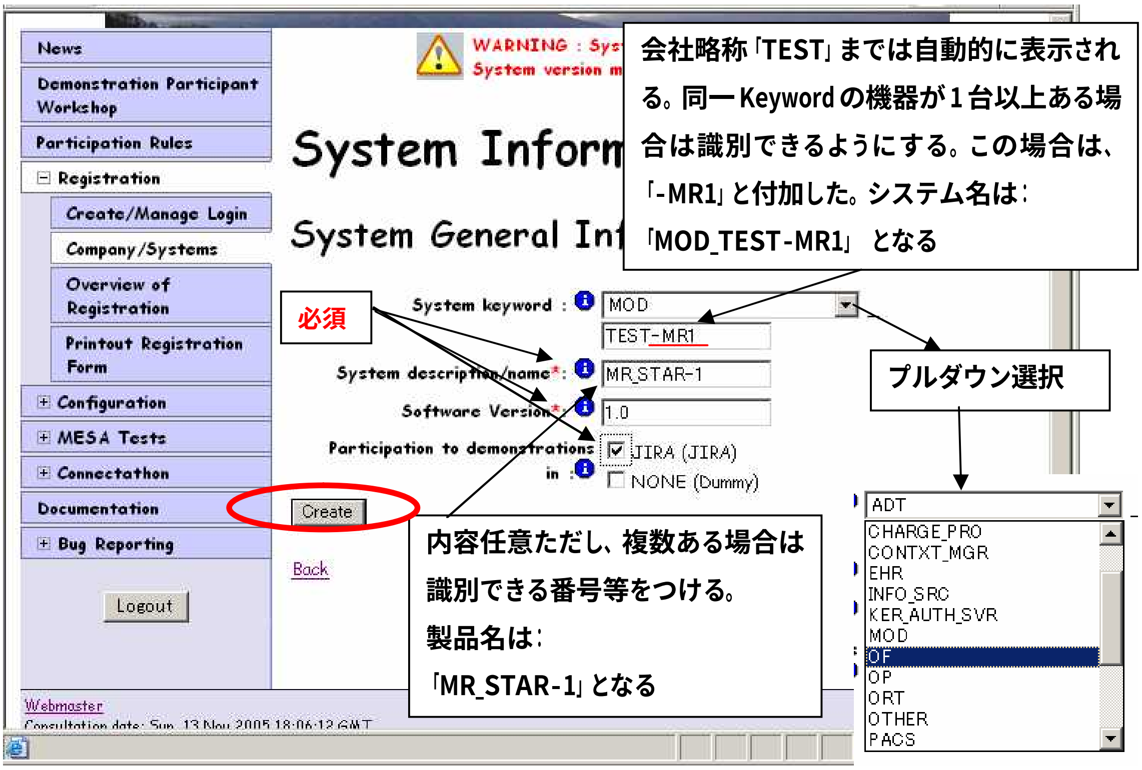


4．3参加するシステムの登録

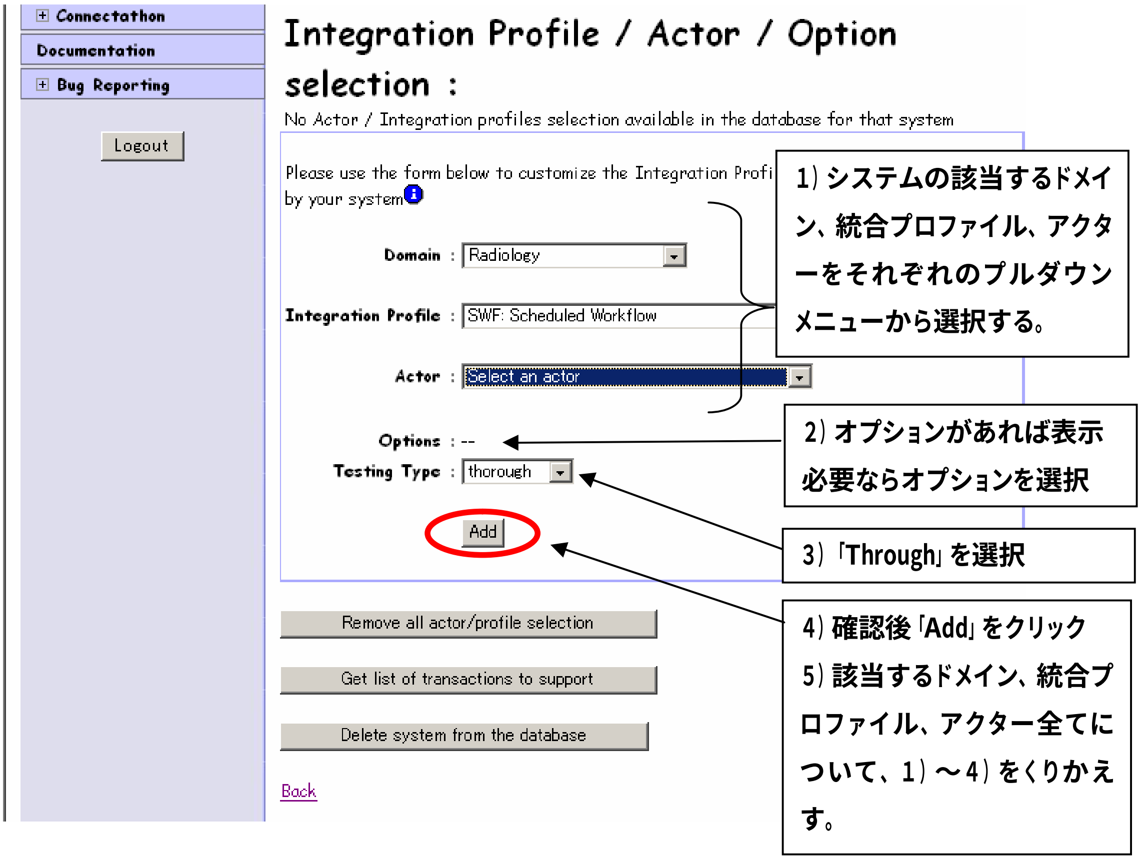
コネクタソンに参加するシステム機器を登録する（必須）。



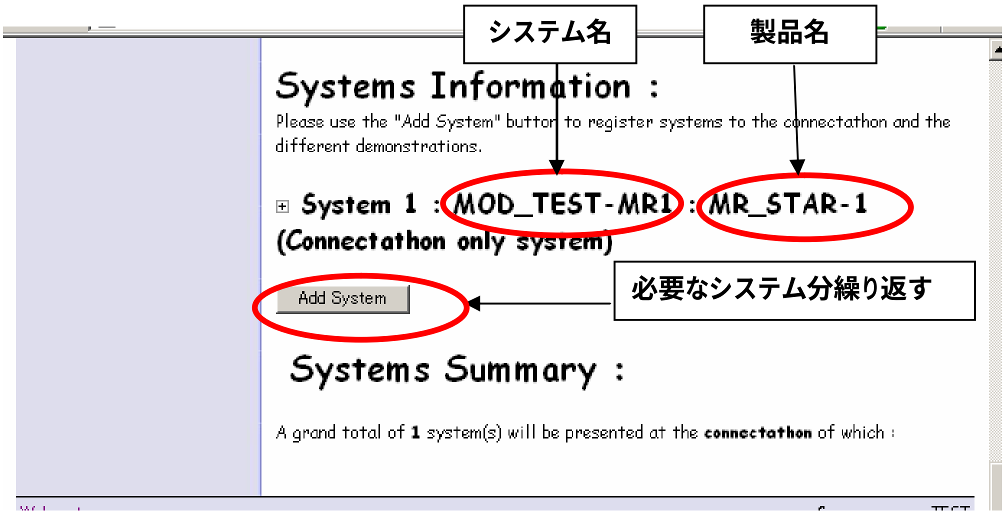
「System Keyword」のプルダウンから登録しようとするシステムに最適な名称を選択する。システムによって複数アクターを有する場合は代表的な機能で選択する。



入力後 「Create」をクリックする。以下システム構成の登録画面が表示される。



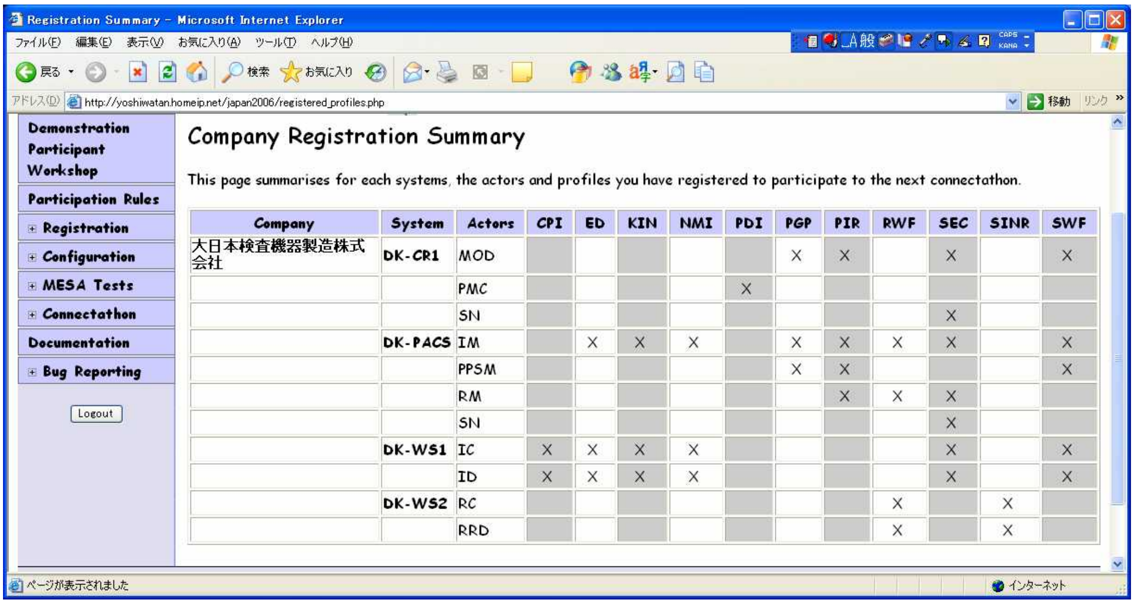
以下のようにリストが作成される。



5．システム情報の確認と変更

「Registration」->「Overview of Registration」画面で登録情報の概要表示される。

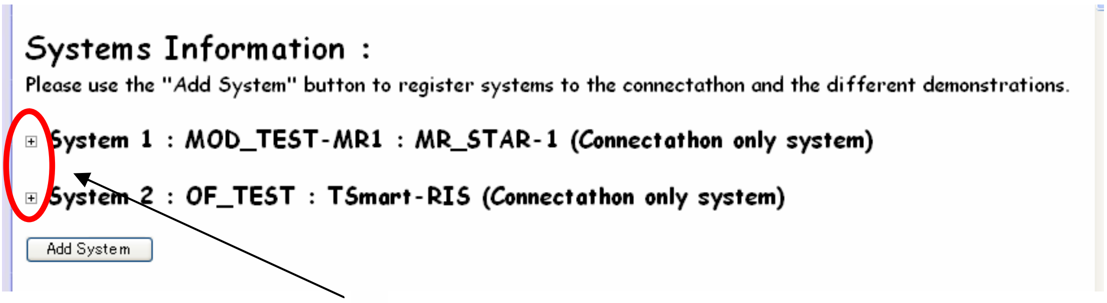
システムと統合プロファイル/アクターの関係を確認する。



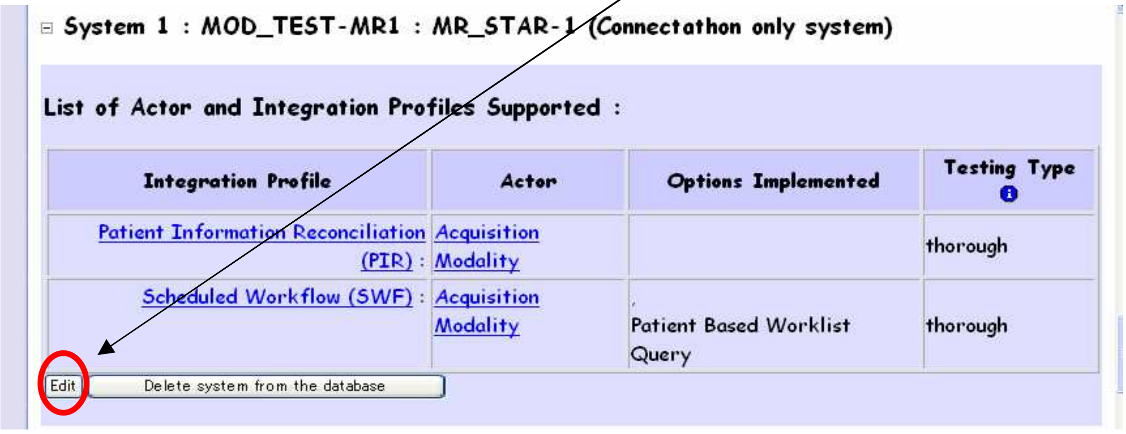
Company	System	Actors	CPI	ED	KIN	NMI	PDI	PGP	PIR	RWF	SEC	SINR	SWF
大日本検査機器製造株式会社	DK-CR1	MOD						X	X		X		X
		PMC					X						
		SN									X		
	DK-PACS	IM		X	X	X		X	X	X	X		X
		PPSM						X	X				X
		RM							X	X	X		
		SN									X		
	DK-WS1	IC	X	X	X	X					X		X
		ID	X	X	X	X					X		X
	DK-WS2	RC								X		X	
		RRD								X		X	

システムのアクター・統合プロファイルの 組み合わせの変更は、「Registration」->

「Company/Systems」から以下を表示させる。



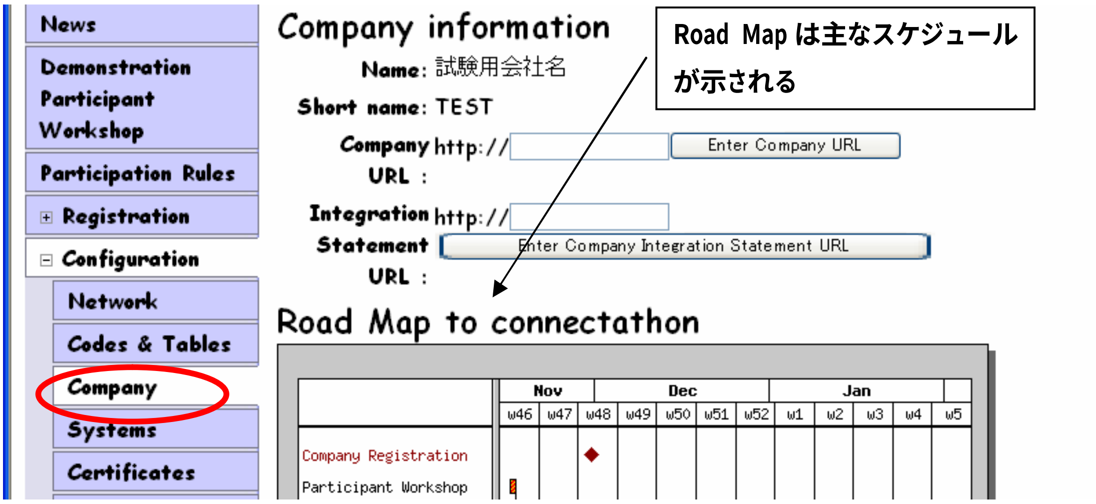
この該当システムのプラス記号 ⊞ をクリックし確認する。変更は「Edit」をクリックし4．3参加するシステムの登録の直後の「System Information」画面に移る。



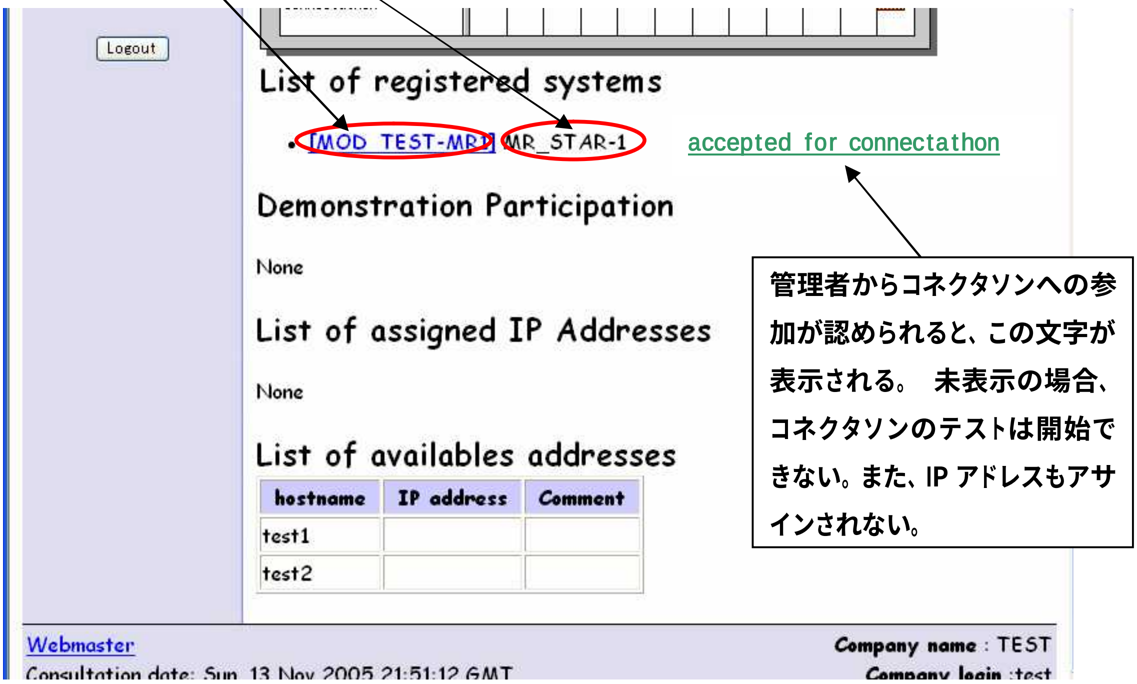
Integration Profile	Actor	Options Implemented	Testing Type
Patient Information Reconciliation (PIR) :	Acquisition Modality		thorough
Scheduled Workflow (SWF) :	Acquisition Modality	Patient Based Worklist Query	thorough

6．コンフィグレーションの確認と変更

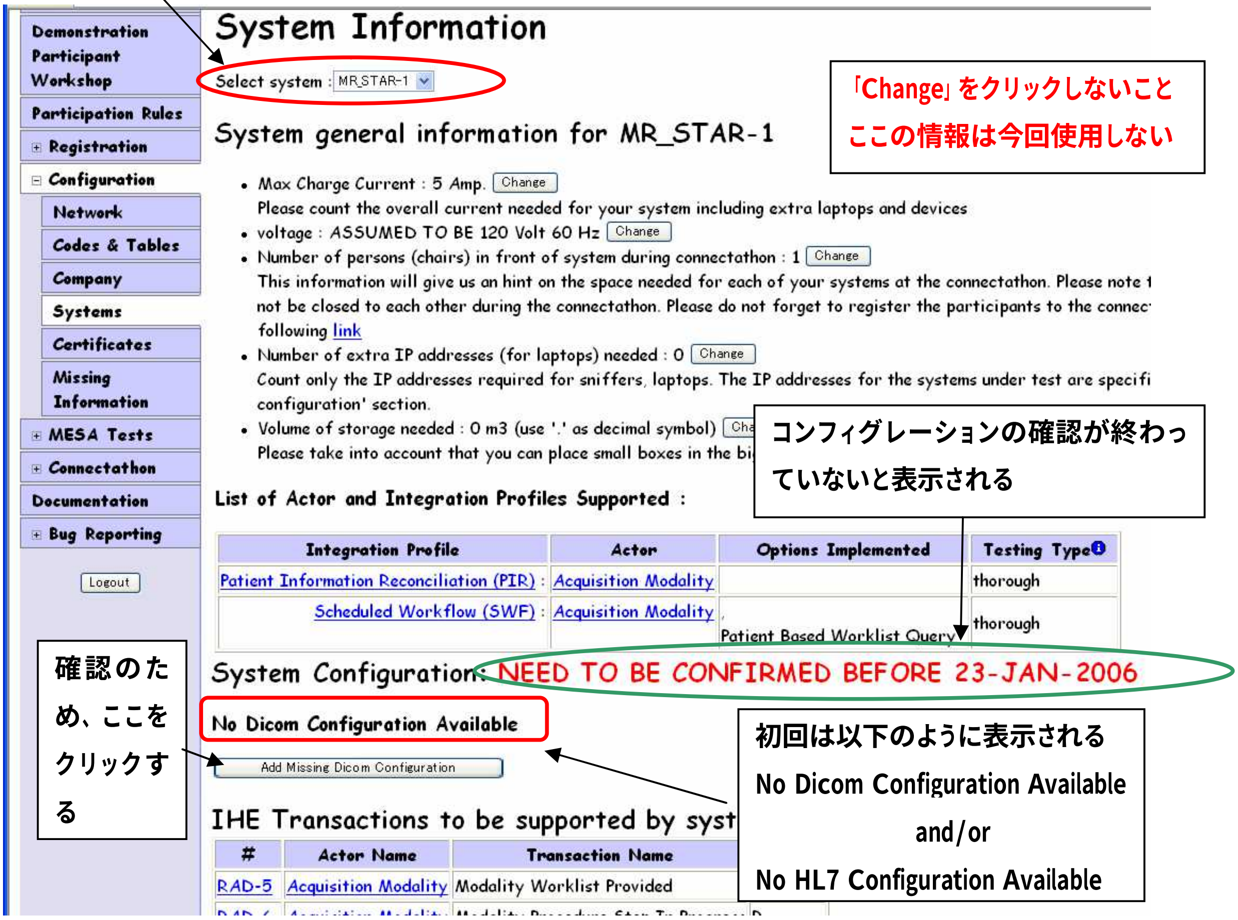
「Configuration」->「Company」を選択する。



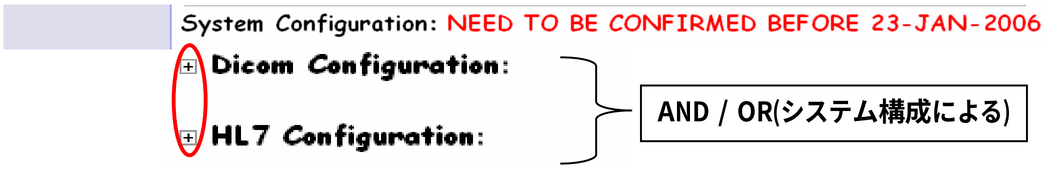
ページ中ほどでシステム名と製品名の対応を確認する（システム名は自動的に設定される）。



上記画面で「システム名」をクリック、または「Configuration」ー＞「System」ー＞「Select system」で該当製品名を選択して下記を表示する。



初回の表示では前図のように「Add Missing Dicom Configuration」または「Add Missing HL7 Configuration」が表示され、それをクリックするとポート番号やＡＥタイトルが表示される。そのまま、再度メニューの「System」をクリックすると、以後　以下のように表示される。



プラス記号 ⊞ をクリックするとポート番号やＡＥタイトルが表示されるので確認する。システムによっては、"Dicom Configuration"あるいは、"HL7 Configuration"のみ表示される。

6.1 Dimcom Configuration 表示（ＡＥタイトル・ポート番号を確認と修正）

この割付は自動的におこなわれており、不都合な場合もあるので必ず確認する。

特に、AE-Title はＤＩＣＯＭ仕様で制限されており、自動的にトランケイトされる。

また、同一ホスト内での PORT 番号の割付はＨＬ７側も含めて確認する。

⊟ **Dicom Configuration:**

Hostname	Description : DICOM AE Title (Port)	Actor concerned	Last Updated	Confirmed
test2	MPPS-SCP : OF_TEST(2250)	OF	2005-11-14 00:53:44	No
""	MWL-SCP : OF_TEST(2250)	OF	2005-11-14 00:53:44	No

A [Validate Dicom configuration as displayed here]   B [Edit Dicom configuration]

[Add Missing Dicom Configuration]

Hostname は「会社略称」＋連番、AE タイトルはシステム名が用いられている。確認のうえ、ＯＫであれば　Aのボタン、修正が必要であれば、Bのボタンをクリックする。

Select system : TSmart-RIS

System Dicom Configuration: OF_TEST

The following configuration parameters where assigned automatically to your system. Please update them as necessary and contact the project manager in case you need assistance.

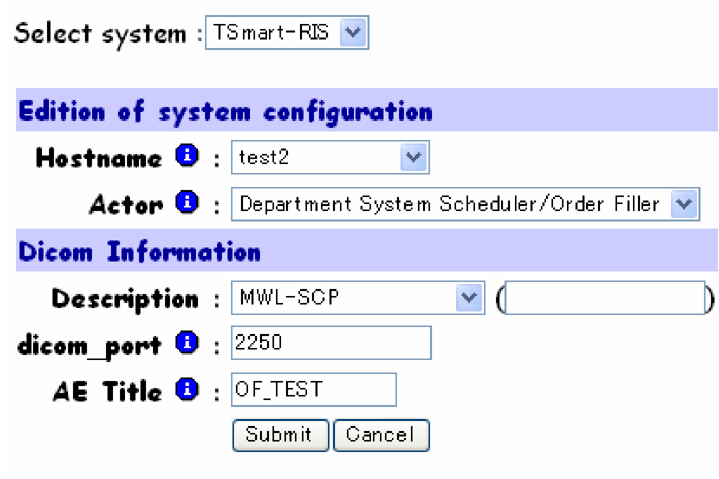
It is essential that all this information shall be verified and confirmed by your company before **23-JAN-2006**

Hostname	Description : DICOM AE Title (Port)	Actor concerned	Confirmed	Last updated	Action
test2	MPPS-SCP : OF_TEST(2250)	OF	✓	2005-11-14 00:53:44	
""	MWL-SCP : OF_TEST(2250)	OF	C ✓	2005-11-14 00:53:44	

いずれの場合も上図のような一覧表が表示される。但しC欄「Confirmed」□の中はAの場合は総てチェック済み、Bの場合は、チェック無になっている。

Aの場合は、変更が必要ない場合なので、このまま画面左側メニューの「Systems」をクリックし、6.2 HL7 Configuration 表示（ポート番号を確認･修正）に移る。

Bの場合は、修正したいラインの鉛筆マークをクリックして修正画面（下図）を表示させる。



ここで、通常 DICOM Port 番号や AE Title が矛盾のないように変更する。また、Host Name を追加する場合はプルダウンから(available)の表示のあるもの選択する（各社 10 まで割付可能）。修正後「Submit」ボタンをクリックし終了する。

修正が必要な行分上記を繰り返す。

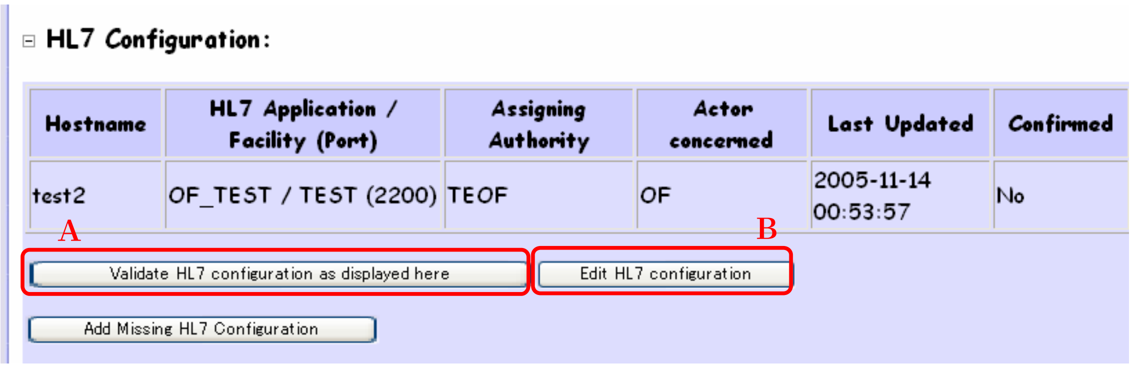
総ての修正がすんだら、C欄「Confirmed」を総てクリックし「チェックマーク」をつける。

その後、画面左側の「Systems」をクリックし、2）HL7 Configuration　に移る。

6.2 HL7 Configuration 表示（ポート番号を確認・修正）

この割付は自動的におこなわれており、不都合な場合もあるので必ず確認する。

また、同一ホスト内での PORT 番号の割付は DICOM 側も含めて確認する。



確認のうえ、ＯＫであれば　Ａのボタン、修正が必要であれば、Ｂのボタンをクリックする。

次のように表示される。

Select system : TSmart-RIS

System HL7 Configuration: OF_TEST

The following configuration parameters where assigned automatically to your system. Please update them as necessary and contact the project manager in case you need assistance.

It is essential that all this information shall be verified and confirmed by your company before **23-JAN-2006**

Hostname	HL7 Application / Facility (Port)	Assigning Authority	Actor concerned	Confirmed	Last updated	Action
test2	OF_TEST / TEST (2200)	TEOF	OF	C ✓	2005-11-14 00:53:57	

DICOM の場合と同様に、いずれの場合も上図のような一覧表が表示される。但しC欄「Confirmed」の中は　前頁Aの場合は総てチェック済み、同じくBの場合は、チェック無になっている。

Aの場合は、変更が必要ない場合なので、このまま画面左側メニューの「Systems」をクリックし、6．コンフィグレーションの確認と変更の最初に戻る。Bの場合は、修正したいラインの鉛筆マークをクリックして修正画面（下図）を表示させる。

Select system : TSmart-RIS

Edition of system configuration

Hostname : test2

Actor : Department System Scheduler/Order Filler

HL7 Information

Port In : 2200

Port Out : 0

Sending/receiving application (table HL7 0361) : OF_TEST

Sending/receiving facility (table HL7 0362) : TEST

Assigning Authority (table HL7 0363) : TEOF

Submit Cancel

ここで、通常 Port 番号が矛盾のないように変更する。また、Host Name を追加する場合はプルダウンから(available)の表示のあるもの選択する（各社 10 まで割付可能）。修正後「Submit」ボタンをクリックし終了する。

修正が必要な行分上記を繰り返す。

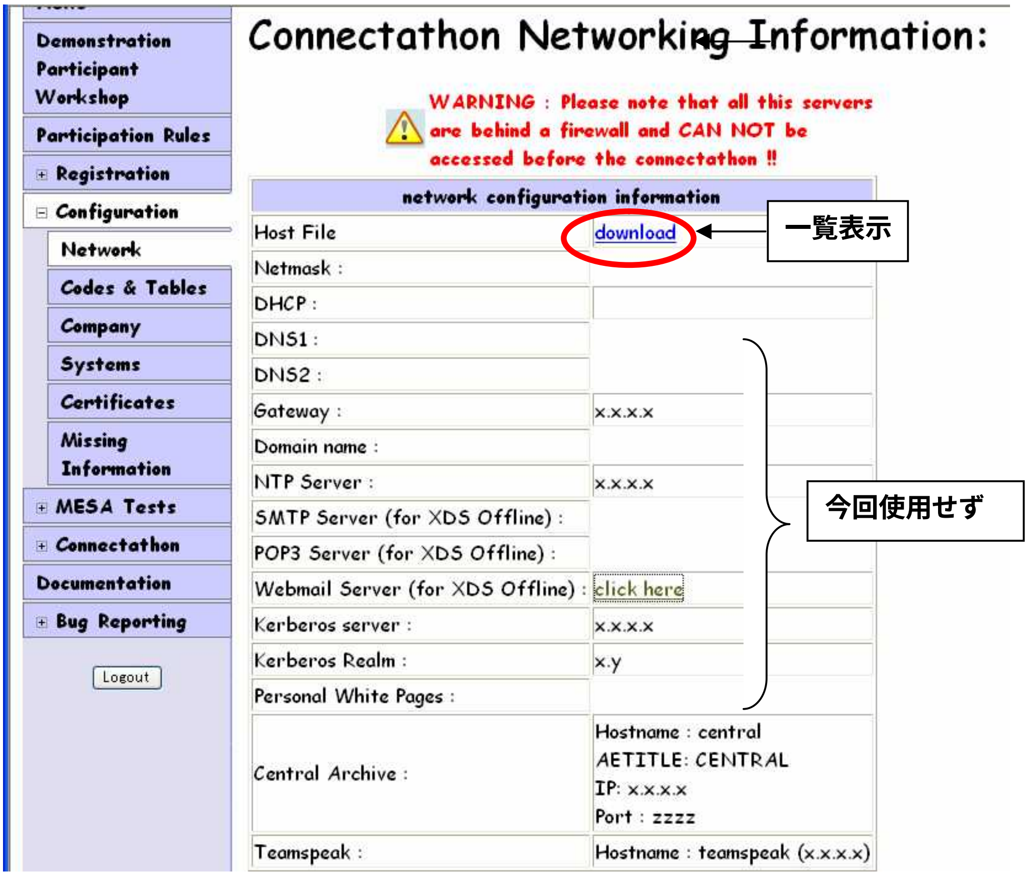
総ての修正がすんだら、C欄「Confirmed」を総てクリックし「チェックマーク」をつける。

その後、画面左側の「Systems」をクリックし6．コンフィグレーションの確認と変更の最初に戻る。このとき、ページ中ほどに”System Configuration ：CONFIRMED “となっていることを確認する。なっていないときは、チェック忘れが、DICO／HL7 Configuration にある。

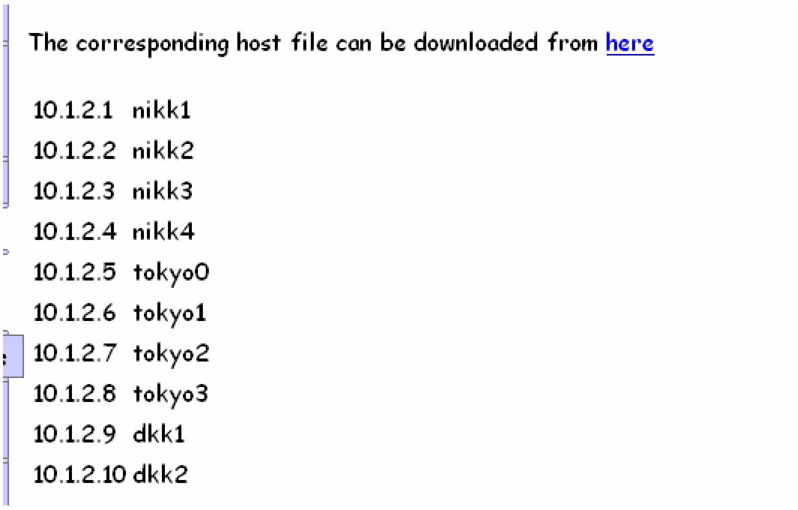
この作業を、登録したシステム分繰り返せば終了である。

付録） 他社システム情報の参照方法

「Configuration」->「Network」を選択、"download"をクリックするとIPアドレスとホストネームの一覧表が表が表示される。



ホストネームの一覧表



“here”をクリックすると host file がダウンロードできる。Hosts ファイルにコピーすれば手入力の必要がない。

再度「Configuration」->「Network」を選択する。ページ中ほどに DICOM システムのコンフィグレーションが表示される。HL7 システムのコンフィグレーションも同ページの後半に表示される。

システム DICOM のコンフィグレーション

Systems Dicom Configuration:

- HL7 Configuration:
- WebService Configuration:

MPPS-SCP
MPPS-SCU
MWL-SCP
MWL-SCU

Show Selected Services | Show All Services

Company	System	Hostname	Service	AE Title	Port	Actor	Last updated	Approved
	MOD_DKK (--)	dkk3	MPPS-SCU	MOD_DKK		MOD	2005-11-13 14:34:59	Yes
	MOD_DKK (--)	""	MWL-SCU	MOD_DKK		MOD	2005-11-13 14:34:59	Yes
	MOD_DKK (--)	""	Storage-SCU	MOD_DKK		MOD	2005-11-13 14:34:59	Yes
			StorageCommit-				2005-11-	

同一のホスト名、AE Title、Port 番号でも、Actor を見れば相手を識別可能。

システム HL7 のコンフィグレーション

「Configuration」－＞「System」－＞ System Information 選択 で ”System Configuration ：CONFIRMED “しているものは“Yes”となっている。

Systems HL7 Configuration:

- Dicom Configuration:
- WebService Configuration:

Company	System	Hostname	Application	Facility	Port	Actor	Authority	Last updated	Approved
	ADT_NIKK	nikk3	ADT_NIKK	NIKK	2100	ADT	NIAD	2005-09-30 16:52:56	Yes
	ADT_NIKK	""	ADT_NIKK	NIKK	2100	OP	NIAD	2005-09-30 16:52:56	Yes
	ADT_NIKK	""	ADT_NIKK_TLS	NIKK	2110	ADT	NIAD	2005-09-30 16:52:56	Yes
	ADT_NIKK	""	ADT_NIKK_TLS	NIKK	2110	OP	NIAD	2005-09-30 16:52:56	Yes
	OF_NIKK	nikk2	OF_NIKK	NIKK	2200	OF	NIOF	2005-09-30 17:02:17	Yes